



平成29年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月5日

上場会社名 イーサポートリンク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2493 URL <http://www.e-supportlink.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 信介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 仲村 淳 TEL 03-5979-0666
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (補足資料は四半期決算説明会開催後ホームページに掲載予定です)
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第2四半期の連結業績（平成28年12月1日～平成29年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第2四半期	2,204	△1.7	46	△82.9	49	△81.2	26	△82.1
28年11月期第2四半期	2,243	△0.5	269	△18.7	263	△25.1	146	△15.4

(注) 包括利益 29年11月期第2四半期 25百万円 (△82.3%) 28年11月期第2四半期 145百万円 (△19.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第2四半期	5.91	—
28年11月期第2四半期	33.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第2四半期	5,584	3,808	68.2
28年11月期	5,405	3,799	70.3

(参考) 自己資本 29年11月期第2四半期 3,807百万円 28年11月期 3,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年11月期	—	0.00	—	—	—
29年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年11月期の期末の配当金については未定です。配当予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 平成29年11月期の連結業績予想（平成28年12月1日～平成29年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,562	2.4	106	△71.9	104	△71.7	62	△78.8	14.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細については、四半期決算短信（添付資料）9ページ「（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年11月期2Q	4,424,800株	28年11月期	4,424,800株
29年11月期2Q	149株	28年11月期	149株
29年11月期2Q	4,424,651株	28年11月期2Q	4,424,651株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費については総じて持ち直しの動きが続く中、企業収益や雇用情勢は改善しており、景気は緩やかな回復基調が続いています。

生鮮青果物流通業界では、主要クライアント企業のメイン商材であるバナナの輸入量は前年並の水準で推移いたしました。小売業の店舗調整後の食料品販売額は前年同月比でやや下回って推移しました。情報サービス業界では、IT関連投資が前年を上回る水準で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、効率的な営業活動を実施するとともに、新規顧客の獲得、生鮮MDシステムの導入拡大、既存事業の生産性向上、将来への投資活動に努めてまいりました。

業績につきましては、生鮮MDシステムの伸長はあるものの、業務受託量が減少したため、売上高は前年同期を下回る水準となりました。損益面では、イーサポートリンクシステムVer.2の減価償却費の増加により、減益となりました。

以上の結果、売上高は22億4百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は46百万円（同82.9%減）、経常利益は49百万円（同81.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26百万円（同82.1%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(システム事業)

輸入青果物サプライチェーン向けに提供するイーサポートリンクシステムにおきましては、前期に本稼働したVer.2の安定運用を進めてまいりました。大手量販店デマンドチェーン向けに提供する生鮮MDシステムにおきましては、データ件数が順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は12億96百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は5億11百万円（同14.7%減）となりました。

(業務受託事業)

顧客企業の流通合理化を図るため、生産性の向上と業務の安定運用の継続に加え、業務の付加価値を高める取り組みを進めてまいりましたが、輸入青果物サプライチェーンにおける業務量が減少いたしました。

以上の結果、売上高は7億86百万円（前年同期比9.9%減）、セグメント利益は2億44百万円（同15.5%減）となりました。

(農産物販売事業)

安定収益の確立に向けて、新規販売先の開拓、集荷数及び販売数の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は1億20百万円（前年同期比6.7%減）、セグメント損失は24百万円（前年同期はセグメント利益16百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて1億79百万円増加し、55億84百万円（前連結会計年度末比3.3%増）となりました。

内訳としては、流動資産が34億13百万円（同8.2%増）、固定資産が21億70百万円（同3.5%減）、繰延資産が0百万円（同36.1%減）となりました。

流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が2億88百万円増加したことによるものです。

固定資産の主な減少要因は、ソフトウェア仮勘定が57百万円減少したことによるものです。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて1億71百万円増加し、17億76百万円（同10.7%増）となりました。

内訳としては、流動負債が10億93百万円（同23.1%増）、固定負債が6億83百万円（同4.8%減）となりました。

流動負債の主な増加要因は、賞与引当金が1億23百万円増加したことによるものです。

固定負債の主な減少要因は、社債が20百万円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて8百万円増加し、38億8百万円（同0.2%増）となりました。

この結果、自己資本比率は68.2%となりました。

その主な増加要因は、利益剰余金について親会社株主に帰属する四半期純利益を26百万円計上した一方、配当により22百万円減少したことによるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結会計期間末に比して2億99百万円増加し、27億28百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は5億80百万円（前年同期は2億52百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を56百万円、減価償却費を1億95百万円、売上債権の減少額を1億29百万円計上したこと、法人税等の還付額を51百万円計上したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は71百万円（前年同期は81百万円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出79百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億19百万円（前年同期は2億52百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の純減額1億28百万円、長期借入金の返済による支出23百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出66百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年1月13日の「平成28年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,239,303	2,528,237
売掛金	407,514	419,823
有価証券	199,994	199,996
商品及び製品	1,391	2,101
仕掛品	28,872	69,904
原材料及び貯蔵品	9,288	6,684
その他	270,078	187,266
貸倒引当金	△508	△522
流動資産合計	3,155,935	3,413,492
固定資産		
有形固定資産	487,792	441,190
無形固定資産		
のれん	-	62,568
ソフトウェア	1,110,528	1,070,891
ソフトウェア仮勘定	208,738	151,261
無形固定資産合計	1,319,266	1,284,721
投資その他の資産		
その他	467,301	470,871
貸倒引当金	△26,537	△26,552
投資その他の資産合計	440,764	444,319
固定資産合計	2,247,823	2,170,231
繰延資産	1,490	952
資産合計	5,405,249	5,584,676
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,829	31,255
短期借入金	200,000	120,500
1年内償還予定の社債	60,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	39,992	66,472
未払法人税等	-	40,899
賞与引当金	-	123,931
その他	578,121	660,244
流動負債合計	887,942	1,093,303
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	28,368	54,108
退職給付に係る負債	413,468	414,564
資産除去債務	42,586	42,874
その他	192,927	151,600
固定負債合計	717,349	683,147
負債合計	1,605,291	1,776,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,721,514	2,721,514
資本剰余金	620,570	620,570
利益剰余金	479,323	482,721
自己株式	△375	△375
株主資本合計	3,821,032	3,824,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,321	4,226
退職給付に係る調整累計額	△22,395	△21,103
その他の包括利益累計額合計	△21,074	△16,877
非支配株主持分	-	672
純資産合計	3,799,958	3,808,225
負債純資産合計	5,405,249	5,584,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
売上高	2,243,096	2,204,511
売上原価	1,076,747	1,213,179
売上総利益	1,166,348	991,331
販売費及び一般管理費	896,628	945,195
営業利益	269,719	46,136
営業外収益		
受取利息	467	100
受取配当金	496	496
投資事業組合運用益	433	6,810
その他	823	1,765
営業外収益合計	2,221	9,173
営業外費用		
支払利息	6,737	4,605
その他	1,515	1,136
営業外費用合計	8,253	5,741
経常利益	263,687	49,567
特別利益		
段階取得に係る差益	—	6,971
特別利益合計	—	6,971
特別損失		
リース解約損	—	376
その他	672	87
特別損失合計	672	463
税金等調整前四半期純利益	263,014	56,075
法人税等	116,551	34,546
四半期純利益	146,463	21,528
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△4,618
親会社株主に帰属する四半期純利益	146,463	26,146

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年12月1日 至 平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)
四半期純利益	146,463	21,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,809	2,904
退職給付に係る調整額	673	1,291
その他の包括利益合計	△1,136	4,196
四半期包括利益	145,327	25,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,327	30,343
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△4,618

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	263,014	56,075
減価償却費	72,450	195,048
のれん償却額	—	3,369
投資有価証券評価損益(△は益)	245	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	123,063	123,931
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△865	28
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,525	1,818
受取利息及び受取配当金	△964	△596
支払利息	6,737	4,605
繰延資産償却額	538	538
有形固定資産除却損	427	87
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△6,971
売上債権の増減額(△は増加)	90,102	129,047
たな卸資産の増減額(△は増加)	13,754	△38,258
仕入債務の増減額(△は減少)	41,017	△35,085
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△8,812	20,174
その他の固定資産の増減額(△は増加)	389	△1,176
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△223,399	85,800
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△2,000	—
その他	25	△5,506
小計	382,252	532,931
利息及び配当金の受取額	964	596
利息の支払額	△6,256	△4,396
法人税等の支払額	△124,116	△113
法人税等の還付額	—	51,184
営業活動によるキャッシュ・フロー	252,843	580,202
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,916	△13,656
無形固定資産の取得による支出	△78,585	△79,342
敷金及び保証金の差入による支出	△343	△957
敷金及び保証金の回収による収入	1,327	2,411
貸付金の回収による収入	—	318
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	13,942
その他	8,704	6,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,813	△71,133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	△128,500
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△59,996	△23,023
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△61,962	△66,049
配当金の支払額	—	△22,123
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△105	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△252,063	△219,695
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△81,034	289,372
現金及び現金同等物の期首残高	2,509,716	2,439,298
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△437
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,428,682	2,728,233

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年5月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年2月22日 定時株主総会	普通株式	22,123	5.00	平成28年 11月30日	平成29年 2月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、重要な子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、株式会社シェアガーデンホールディングスの株式を追加取得したことにより、同社及びその連結子会社の株式会社オーガニックパートナーズを連結子会社としました。

また、重要な子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間まで連結子会社であった株式会社農業支援を重要性の観点により、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,240,733	872,691	129,671	2,243,096	—	2,243,096
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,710	2,752	11,426	15,888	△15,888	—
計	1,242,443	875,443	141,097	2,258,985	△15,888	2,243,096
セグメント利益	600,266	289,496	16,710	906,474	△636,754	269,719

(注) 1 セグメント利益の調整額△636,754千円には、セグメント間取引消去5,339千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△642,094千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,296,863	786,692	120,954	2,204,511	—	2,204,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,296,863	786,692	120,954	2,204,511	—	2,204,511
セグメント利益又は損失(△)	511,954	244,734	△24,981	731,706	△685,570	46,136

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△685,570千円には、セグメント間取引消去978千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△686,549千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「農産物販売事業」セグメントにおいて、株式会社シェアガーデンホールディングスの株式を追加取得し、同社及びその連結子会社1社を連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において65,937千円であります。